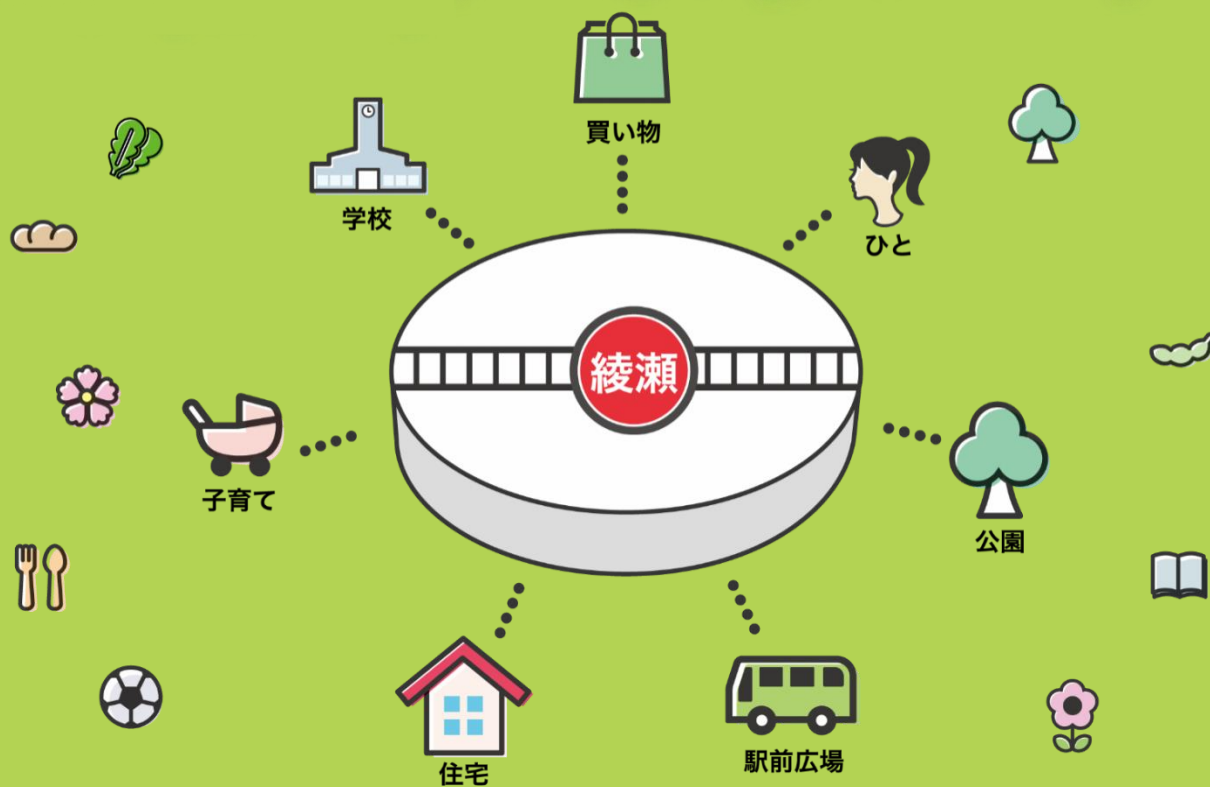


— 綾瀬ゾーンエリアデザイン計画 —



綾瀬のまちづくり



まち×デザイン=未来

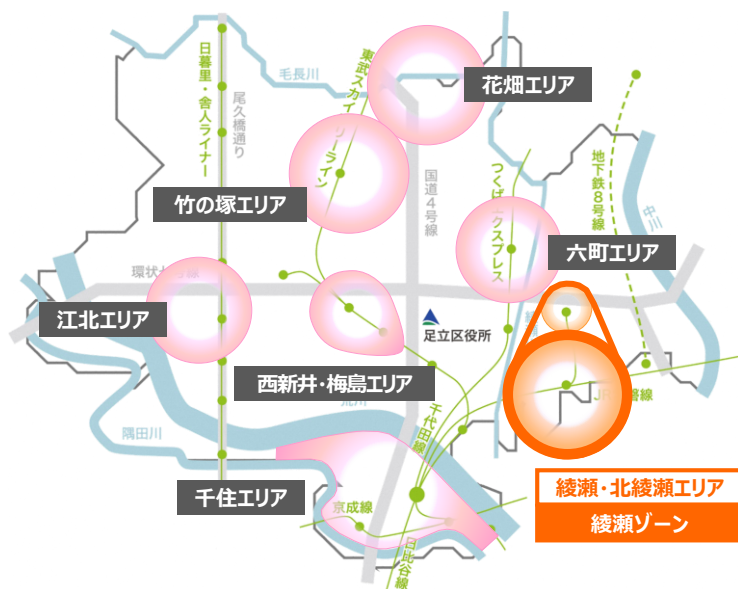
エリアデザイン計画とは

魅力的なまちの将来像を描き、民間活力の誘導や区有地等の活用を効果的に行うことで、区のイメージアップを図る足立区独自のまちづくりの手法です。

現在は、「綾瀬・北綾瀬」「花畑」「江北」「六町」「千住」「竹の塚」「西新井・梅島」の7つのエリアが対象となっています。

綾瀬ゾーンのエリアデザイン計画

綾瀬駅周辺では、2024年度までに東口駅前交通広場の整備を目標としています。合わせて、旧こども家庭支援センター等跡地は、綾瀬小・東綾瀬中の仮設校舎利用が2024年度で終了し利活用が可能となるため、まちが大きく変わる好機を迎えています。この変化のタイミングで、エリアデザイン計画を策定し、更にまちの魅力を高めていきます。「綾瀬ゾーンエリアデザイン計画」の策定にあたっては、エ



リアの特徴を示す統計データの収集とともに、2021年1月～2月に地域にお住まいの方々に対するアンケート調査（回答数750人）を実施しました。両者の内容を整理・分析することで、現在の綾瀬ゾーンが持つ「強み」と「弱み（課題）」を把握・整理し、区の基本計画や都市計画マスタープラン等を土台としつつ、まちの将来像＝エリアデザインを描きました。

選ばれ続け・住み続けたい 綾瀬に

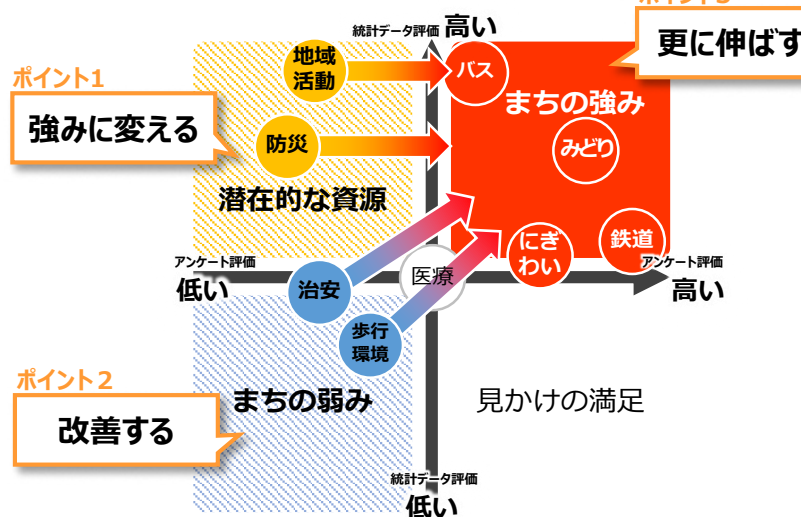
「まちへの愛着」や「人に勧めたい」などまちに対するプラスイメージを持つ人を増やします！

Keyword SDGs／インクルーシブなまちづくり／循環型経済の推進／脱炭素社会の実現／グリーンインフラの推進

まちの現状と課題

○統計データとアンケート調査の2つ評価により「まちの強み」「まちの弱み」「潜在的な資源」「見かけの満足」の4つに分類。

○まちの強みを更に伸ばすとともに、「治安」「歩行環境」「防災」「地域活動」について、改善や課題解決を図ります。



今後の方向性

1 駅前の魅力と安全性を高める

○【東口】東口駅前から旧こども家庭支援センター等跡地まで連続する「**まちの顔づくり**」

○駅東西の回遊性向上へつなげる駅前通りの**歩行環境改善**

○【西口】高架下空間と駅前通りの**にぎわい**づくり

2 新しいライフスタイルとの出会いの場をつくる

○「**自分好みのライフスタイル**」が実現できる環境づくり

○子どもや高齢者が「**安心**」して過ごせる居場所づくり

○「**豊かなみどり**」を生活に活かす環境づくり

3 治安や災害への不安感を払拭する

○綾瀬エリアの**体感治安**を向上

～地域のネットワークを活かして安全・安心なまちづくりを強化～

○日々の暮らしの中で**災害に備える**

○西口高架下空間や川沿いなど**暗いイメージを改善**

将来の“綾瀬”ってこんなまち！

プラスイメージがあふれる
“安全なまち”

まちに“愛着”を
感じられる

“自分好みの時間”を
過ごせる

歩いて“楽しい”

まちづくりの取組み

※ 取組みの番号「■-X」の「■」は、まちづくりの方向性の番号を示しています。詳しくは計画書をご覧ください。

A 東口駅前交通広場と東綾瀬公園(ハト広場)の一体的な整備

- 取組み 1-1 イベント等に活用しやすいオープンスペースの創出
- 取組み 2-1 地域住民や来街者がオープンスペースを活用できるルールづくり
- 取組み 3-4 プラスイメージを強化するエリアプロモーション

目標スケジュール

2021年度 基本・詳細設計開始
2023年度 工事着工
2024年10月末 工事完了

B 旧こども家庭支援センター等跡地の活用

- 取組み 1-2 公民連携による旧こども家庭支援センター等跡地の活用
- 取組み 2-2 新しいニーズにあわせた既存公共施設の活用

※ 計画地は、2022年度から東綾瀬中仮設校舎で使用
※ 仮設校舎の使用終了時期にあわせて検討・準備を進めます

目標スケジュール

2022年度 活用方針検討開始
2024年度 公募・事業者決定
2027年度 オープン

C 西口高架下空間の活性化

- 取組み 1-3 西口高架下周辺の魅力的な空間づくり
- 取組み 2-2 新しいニーズにあわせた既存公共施設の活用
- 取組み 3-4 プラスイメージを強化するエリアプロモーション

目標スケジュール

実現に向け、関係者と協議を進めながら検討する。



にぎわいゾーン

- 取組み 1-4 ゆとりのある安全な歩行空間の創出
- 取組み 1-5 主要道路沿道のにぎわいを誘導するルールづくり
- 取組み 2-4 学校図書室を活用した子どもが本とふれあえる場所の整備

全域

- 取組み 2-1 地域住民や来街者がオープンスペースを活用できるルールづくり
- 取組み 2-2 新しいニーズにあわせた既存公共施設の活用
- 取組み 2-3 活動する人々を緩やかにつなぐプラットフォーム
- 取組み 3-1 犯罪認知件数を更に減少させる取組みの強化
- 取組み 3-2 綾瀬川氾濫時の庁内タイムラインの導入
- 取組み 3-3 防災対策情報を行き届かせる
- 取組み 3-4 プラスイメージを強化するエリアプロモーション

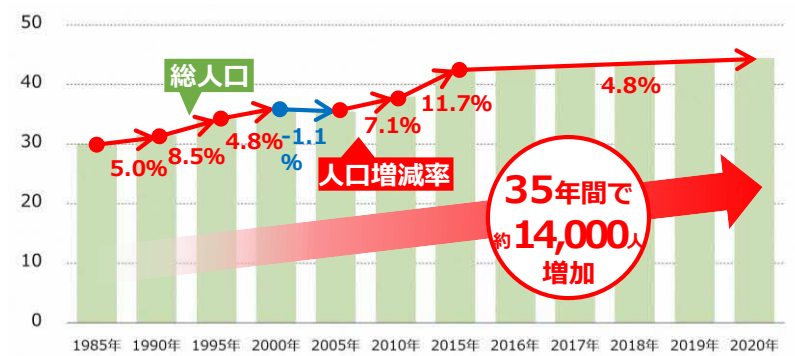
参考 データから見る 綾瀬のまちの変化

綾瀬ゾーンの人口の推移

- 1985年以降も着実に人口が増加。
- 近年は鈍化が見られるものの、人口は増加し続けています。

ポイント1

人口は依然として
増加傾向！



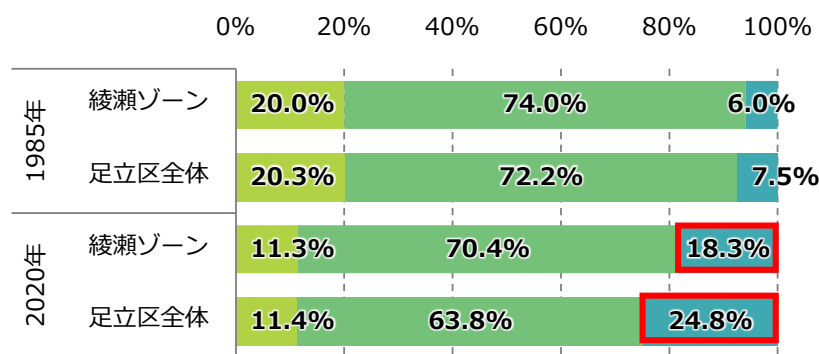
(出典:住民基本台帳 各年1月1日)

綾瀬ゾーンの年齢別人口割合の推移

- 綾瀬エリアは、1985年から2020年にかけて高齢人口割合が12%増加。
- しかしながら2020年時点でも20%以下と、足立区全体より6.5ポイントも低い割合。

ポイント2

足立区全体よりも
若い世代が多い！



(出典:住民基本台帳 各年1月1日)

綾瀬ゾーンの土地利用の変化

- 土地利用の変化を見ると、商業・業務系施設等が減少し、集合住宅が増加。
- 特に集合住宅が増加した東和地区と東綾瀬地区は、同時期に40歳未満の人口が増加。

ポイント3

集合住宅の増加により
若い世代が増加！



(出典:土地利用現況調査)



足立区 エリアデザイン推進本部

<事務局>

足立区 政策経営部 エリアデザイン推進室 エリアデザイン計画担当課
〒120-8510 東京都足立区中央本町1-17-1 南館9階

TEL 03-3880-5111 (代表) 03-3880-5812 (直通)
FAX 03-3880-5610

足立区公式ホームページ

